



温州ミカンの果実腐敗は、
緑かび病を主体に問題となっ
ています。この果実腐敗に対
する農薬であるベフラン液剤
25とベンズイミダゾール系薬
剤（トップジンM水和剤やベ
ンレート水和剤など）を収穫
前に混用散布すると、各薬剤
の単用散布よりも防腐効果が
向上するため、本県では、こ
の混用散布が広く普及してい
ます。しかし、ベフラン液剤
25の登録が2025年までに
失効することになり、早急な
代替剤の検討が必要となりま
した。

そこで、ベフラン液剤25と
作用機作が類似した薬剤であ
るベルクトフロアブルの代

替剤としての有効性について
検討しました。その結果、緑
かび病菌による果実腐敗に対
し、ベルクトフロアブルと
ベンレート水和剤との混用散

温州ミカンの果実腐敗

ベフラン液剤25代替に
ベルクトフロアブル

布は、ベフラン液剤25とベン
レート水和剤の混用散布と防
除効果は変わらず、無処理に
比べ腐敗果率も低く、ベルク
トフロアブルはベフラン液

剤25の代替剤として有効であ
ることが明らかとなりました。
なお、「青島温州」などの
長期貯蔵する品種において問
題となる軸腐病に対する効果
は今後、確認していきます。
（県農林技術開発センター
果樹・茶研究部門カンキツ研
究室主任研究員 内川敬介）

各混用散布の緑かび病に対する防除効果					
供試薬剤の散布倍率			腐敗果率(%)		
ベンレート 水和剤	ベルクト フロアブル	ベフラン 液剤25	2022年		2023年
			収穫 7日前 散布	収穫 21日前 散布	収穫 13日前 散布
4000倍	1000倍	—	0	0.5	0
4000倍	2000倍	—	0	0.5	1.3
4000倍	—	2000倍	0	0	0
いずれの薬剤も無散布			13.5	39.5	18.1